

それ行け!

飛翔探険隊

～ 西条酒蔵地区の巻 ～



その壱 飛翔探険隊 てくてくガイドに参加

その弐 酒まつりの裏側 酒まつり実行委員会に潜入

それ行け！飛翔探険隊

酒蔵通りを散策

今回、私たち飛翔探険隊は酒蔵通りの探検をするため「酒蔵のまち てくてくガイド」という企画（東広島市観光協会主催）に参加してきました。探険隊員が、酒蔵の見所・魅力をお伝えします。

「酒蔵通りの三つの見所」

酒蔵通りの景色を語るなら、煙突・白壁・なまこ壁の三つは外すことができません。酒蔵通りを歩いていてまず目を惹くのは、なんとと言っても立ち並ぶ壁の白さです。雨が直接伝わらないための瓦が壁の白さを保っており、視界に飛び込んでくる眩しいその色は、鮮やかに感じられるほどです。

視線を僅かに上にやると、赤レンガの煙突が目に入ります。離れていても十分に存在感があります。駅周辺には、十五本の煙突が残っているのだとか。取材の日は、朝は曇っていたものの途中から日が覗きました。青空を背景に立つ煙突のレンガの赤色は、まさに格別です。そして、なまこ壁。白壁や煙突と同様に、こちらにも目を奪われます。酒蔵通りの歩道の模様もなまこ壁が基になっていると耳にすれば、足元にもついつい目が行ってしまいます。（中段写真）

訪れた際には是非とも、上も、前も、下も、しっかりと眺めながら歩いてください。

（担当 18生 小野 未千恵）

「酒蔵の工夫」

西条の酒造りは、江戸時代初期から行われています。酒造りに欠かせないのは酒蔵！いくつか酒蔵においての工夫を紹介します。

☆杉玉（右下 写真）☆

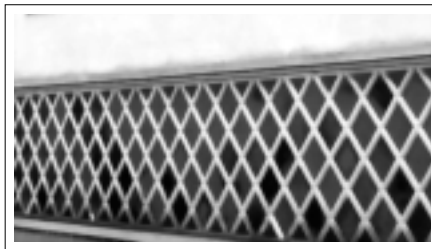
杉玉とは、新酒が出来たことを知らせるために酒蔵などに吊り下げるもの。杉玉の色が緑から茶色に変わること、熟成度を見ることができます。出来たてのお酒が好きなら杉玉が緑色の時、熟成したお酒が好きなら杉玉



が枯れて茶色になった時に行けば、自分好みのお酒が飲めます。三十センチ四方の大きさの杉玉を作るのに、軽トラックいっぱいが必要とされます。

☆なまこ壁（⇒右写真 上）☆

酒蔵通りの酒蔵群は、白壁となまこ壁と呼ばれる壁で出来ています。なまこ壁とは、土蔵などの漆喰（しっくい）を風雨から保護するため、平たい瓦を打ちつけて並べ、瓦と瓦の間の継ぎ目を、漆喰でなまこのような形に盛り上げた壁のことをいいます。酒蔵の白壁は中の温度を一定に保つため、厚くなっています。なまこ壁はそんな白壁を守る大切な役目を果たしています。



（担当 19生 井上 朋子）

酒蔵のまち てくてくガイド

「おいしいお酒、おいしい水」

おいしい酒造りに欠かせないのが良質の水。酒蔵地区で使われている、適度なミネラル分を含み鉄分の少ない中硬水は酒造りに最適な水です。各蔵元では、井戸を開放し、汲み出された仕込み水を自由に試飲できます。それぞれの井戸で微妙に味が異なるのを飲み比べるのも酒蔵歩きを楽しむの一つ。地元の人



仕込み水の味の違いがはつきりと分かるそうです。皆さんも色々な形で、仕込み水を楽しんでみてください。

☆仕込み水を「和らぎ水」に☆

「和らぎ水」とは、日本酒を飲みながら飲む水のことです。合間に水を飲むことで、お酒のアルコール分が下がり、酔いの速度が緩やかになります。また、口の中をリフレッシュすることで、次の一杯や料理の味が鮮明になります。「和らぎ水」の条件はおいしい水であること。ペットボトルに仕込み水を頂いて帰り、お酒のお供にすると、体に優しくお酒が楽しめそうです。

(出典：日本酒造組合中央会「和らぎ水」のすすめ)

(担当 19生 桑田 雅美)

「日本酒の効用・活用」

日本酒は昔から「百薬の長」と言われてきました。適度な飲酒は、心臓病やガン・骨粗鬆症・老化・痴呆などの発症リスクを下げるというデータがあります。また日本酒はお酒の中でも特に多くのアミノ酸を含んでいます。肌に潤いをもたせ、血液循環をよくするアミノ酸は、冷え性や肩こりにも効果があります。今回取材に同行して、お酒には様々な活用方法があることを知りました。ここではその一部をご紹介します。

☆ちよつと日本酒を使ってみては：☆

まず疲労回復によく効く「日本酒風呂」があります。三十七度くらいのぬるめのお風呂に、コップ二〜三杯の日本酒をいれるだけです。こうすることによって体を温め、血圧の安定にも役立ちます。市販の入浴剤よりも効果が期待されます。そして、味気ないカップ麺をおいしくするのも日本酒。注ぐお湯の火を消す寸前に、おちよ一杯のお酒をいれるだけです。日本酒のうまみ成分がスープをまるやかにしてくれます。一度試してみてくださいいかがですか。

(出典：料理の魔術師「日本酒」活用テクニク)

(担当 19生 稲村 円)

「てくてくガイド」酒蔵を歩こう

この「てくてくガイド」は、日本三大酒蔵と呼ばれるここ安芸西条の酒蔵地区を、ガイドの方とゆっくり散策するというものです。少人数のグループに1人のガイドの方がついて周ってくださるので、酒蔵の様子や古風な町並みを、詳しい説明を受けながら楽しむこ

とができます。

このガイドの方々は、ボランティアでガイドをされており、ガイドの企画、資料作成、学習会、ガイドマニアル作りなど日々ガイドについて学ばれています。また秋

に行われる酒まつりで喫茶店の出店などもおられるそうです。

今回私たちがお世話になったガイドの濫觴さんは、「ガイドとして、人から教わったことを伝えていくことが楽しくて生きがいとなっています。(酒蔵散策の機会が)若い人たちとの交流の場となっていて、皆さんのエネルギーをもらっています。」と語ってくださいました。

今回てくてくガイドに参加して、心温かいガイドの方との出会いもあり、とても楽しめました。まだ酒蔵に行ったことが無い人、お酒が好きな人、お酒に興味がある人など、どんな人でも無料でこの企画に参加できます。参加を希望される方は、毎月十日午前十時から、駅前の観光案内所を随時出発しています。仲の良い友達と一度訪れてみてはいかがでしょうか？



(担当 18生 中野 陽介)

(写真担当 18生 中野 陽介
19生 梶原 瑞穂)

それ行け！飛翔探険隊

潜入!! 酒まつり実行委員会

みなさん、毎年十月に行われる東広島島の酒まつりをご存知ですか？今年で十八回目を迎える、酒どころの西条を活かした、酒をテーマにしたお祭りです。西条のお酒はもちろん、全国九百銘柄のお酒が楽しめます。またお酒が飲めない人や家族でも楽しめるステージ（今年は桂小枝さんが来ますよ）やイベントが盛りだくさんの祭りで、毎年多くの人で賑わっています。今回は、そんな酒まつりの裏方、企画・運営している「酒まつり実行委員会」に飛翔探険隊、潜入です。

～酒まつり実行委員会～

今は六月中旬、午後七時。西条の産業振興会館文化ホール。ここで酒まつり実行委員会が行われています。ホールに入ると、学生らしき人達が既に席に着いていました。私も待っていると、ある人はスーツ姿、ある人は作業着、ある人は、Tシャツにズボンのラフな格好などで、年配の方から、学生の方まで、様々な人々が続々と集まってきました。七時二十分頃、三十〜四十人ほど集まったところで、酒まつり実行委員会が、委員長の内川さんのあいさつで始まりました。全体的に堅苦しくない、くだけた雰囲気、美酒鍋を協力の確保をどうするか、備品チェック協力をお願い、開催時間の決定……酒まつり全体に関する話が連絡、相談されていきます。

続いて、各「部会」に分かれての話し合い（左「写真」に移ります。「部会」とは、酒まつりを行う上で、作業を分担したグループのことです。例えば、メイン会場部会や酒ひろば部会や広報部会という風に、各担当で話し合いが行われます。その中に学生中心の部会があり、話を聞いてみました。

～学生参加の酒まつり～

この部会はボランティア部会とよばれ、学生による酒まつり本番の全体協力、学生の企画によるステージやゲームについて話し合っています（下段「写真」）。去年は、百人以上の学生が酒まつりで活躍しました。今年の実行委員会には、広島国際大学、近畿大学、比治山大学、広島大学の四大学の団体やサークル、個人が参加しています。会議中、学生たちは、真剣な表情で話を聞いて、メモを取り、スケジュールや企画の内容などについて、学生同士あるいは社会人の方と盛んに話しています。特に学生中心で企画して運営も担当するのが、歩行者天国のステージです。これは、広島国際大学のまちづくり研究会とボランティア部、それに酒まつりを卒業論文テー



マとしている比治山大学の四年生が担当していて、子ども達を喜ばせる企画を考えています。



積極的に活動している学生達ですが、歩行者天国担当のまちづくり研究会の三年生の方は、「会議は大人数になってくるので、意見が噛み合わなかったり、全体に内容が行き届いてなかったりして、直前になってドタバタし

潜入!!酒まつり実行委員会

たというのが毎回のことで、それは、ちよつと大変というか。今四ヶ月前くらいですが、段階を踏んで、少しずつ、着々と話を進めていくのは大変です。」と準備の難しい点もおっしゃっています。

こういった困難がありつつも頑張る学生に対して、ボランティア部会長の財満さん(社会人)は、「ありがたいですね。他県から来てくれた人たちが、地元、東広島島の祭りに参加してくれてありがたい。」とおっしゃっていて、また実行委員長の井川さんも、「(去年は)ほんとうすごいみんなよくやってくれて、すごい助かったんですよ。この祭りは学生さんがないとできないくらい。」とおっしゃっています。酒まつりでの学生の活躍が伺えます。学生が積極的に盛り上げ、支えている酒まつり。当日はぜひ、会場の学生ボランティアの活躍にも目を向けてみてください。もちろん私たちもボランティアとして参加できますよ。

社会人のしる酒まつり

社会人も負けていません。学生もボランティアですが、実は社会人の方も、ボランティアや企業・団体の協力として参加されています。東広島市や酒造組合や日本商工会議所青年部などの多数の団体・企業から、各部署に配属されています。そのため多種多様な人々が協力して酒まつりをつくります。当然参加されている方は、酒まつりが本職ではありません。普段は酒造会社や建設会社や市役所といった自分の職場で働きつつ、酒まつりにも参加されています。副実行委員長の立川さんが「私的なことという、時間のやりく

りが一番大変ですね。」とおっしゃるように、皆さん、仕事と両立しながら時間を捻出して、委員会に参加されています。

大変であるけど、委員会に参加している理由を、立川さん(左の写真 右側)

は、「実際に自分たちが関わったものが、形になって、お客さんが来て、喜んでいただけるというのを、いっぺん体験すると、やめれんくはなるね。」とおっしゃっています。また井川さん(左の写真 左側)は、「(毎年新たな問題が出てくるし、意見の衝突もある)でも最後は、みんなご苦労さんで終わって、やっぱり一つの目的が達成される。(そうした)みんなでものを作っていくという楽しさ、つらさですよ。」とおっしゃっています。みんなが酒まつりを作り、その酒まつりをお客さんに喜んでもらえることが、スタッフの原動力になっているよう



です。

実行委員長井川さんより学生に一言

お酒を売るための祭りじゃないけど、お酒を通して、西条ではこういう祭りをやっています。学生さんには地元以外の遠くから来た人もいるだろうけど、だからこそ、この西条、造り酒屋が十軒ある町で四年間過ごしていることを覚えていてほしいです。他にもいろんなイベントをやっているのもっともっと参加して欲しいですし、ボランティアとしても参加してもらいたいです。

編集委員より

少しでも、酒まつりの裏側のことが伝わりましたか?取材する中で、同じ学生として、尊敬はもちろん、負けたくないと思いました(笑)。また作り手の酒まつりへの思いを感じられて、非常によかったです。

今年十月十三日、十四日の土日が酒まつりです。ぜひ地域の祭りに、行ってみては?

(担当 18生 荒川 洗一)
(取材協力 19生 井上 朋子)
(梶原 瑞穂)